



門高通信

～平成 29 年度第 7 号～

石川県立門前高等学校

〒927-2193 石川県輪島市門前町広岡 5 の 3

TEL:0768-42-1161 FAX:0768-42-0009

ホームページ:<http://www.ishikawa-c.ed.jp/~monzeh/>

メールアドレス: monzeh@m1.ishikawa-c.ed.jp



後期生徒会、発足！

後期生徒会長 亀岡 冴渡（門前中学校出身）

私が後期生徒会長に立候補したきっかけは、生徒一人ひとりの充実した生活を、生徒会の力を駆使して実現させたいと思ったからです。今の学校生活には「過ごし辛い」や「勉強し辛い」などといった不満があると思われまます。そういった課題を、アンケート調査の実施などから、生徒会一丸となって改善したいです。また、生徒会機関紙『あおぎり』の制作や、挨拶運動の強化、参道清掃、ボランティア活動にも力を注ぎたいと考えています。計画を実現するために、自ら率先して物事に取り組み、役員の仕事を確認にし、指示を出していきたいです。そうして後期生徒会を意味あるものにします。



会 長	2 年	亀岡 冴渡	(門前中)
副会長	2 年	浦野 拓実	(門前中)
書 記	2 年	藤井 真尋	(富来中)
書 記	1 年	安田 明香里	(門前中)
会 計	2 年	中條 優香梨	(門前中)
会 計	2 年	塗師 和佳奈	(門前中)

ごみゼロ運動、実施！

9月29日（金）放課後、門前町のごみゼロ運動に、本校ソフトボール部員も参加させていただきました。総持寺参道を中心に1時間ほどの作業でしたが、地域の方の熱心な様子に感心させられました。私たちの活躍を支え、いつも応援してくださっている地域の方々への感謝を忘れず一生懸命練習することと共に、地域の一員として私たちができることを日ごろから意識し、取り組んでいきたいと思いました。



避難訓練、実施！

10月13日（金）2学期中間考査後、防災避難訓練を行いました。グラウンドの状態不良のため、体育館での訓練となりました。

火災、地震、津波、風水害、更にミサイル飛来に対する対応等、様々な危険から自分を守る、友人を守るためには、どのように行動しなければいけないかということをしっかり身に付けて、いざという時に落ち着いて行動ができるようになってほしいと思います。ただ、今回は少し危機感や、集中力に欠けていた点を、校長先生や、門前文分署の谷内田さんに指摘されました。「釜石の軌跡」は訓練の積み重ねの賜物であった。だから、普段から高い意識をもって生活しなければいけないと指導されました。

その後、消火器の使用説明、実際に消火訓練を行って終了しました。



新人大会への意気込み!

男子バスケットボール部

袖浦 翔(門前中学校出身)

男子バスケットボール部は、2年生5人で、羽部先生、古田先生のご指導の下で果敢に活動しています。

男子バスケットボール部では、5名と少ない人数ですが「チームワーク」を最も大切に日々練習に励んでいます。日頃の練習では体幹重視のトレーニングを行い、1試合走りきる体力をつける練習メニューに挑んでいます。

今回の新人大会では、必ず1勝できるように一生懸命のことでありますが、最後まであきらめず全力を尽くしたいと思います。

29年度の新人大会は、11月9日(木)から白山市を中心に行われます。温かい声援をよろしくお願いします。



ソフトボール部

屋良 海月(稲沢中学校出身)

10月28日(土)・29日(日)に門前町総合運動公園で開催される県新人大会に出場します。新チームとなり、一人ひとりが目的意識を持ち取り組むこと、互いに必要な声を掛け合うことを重視し、日々の練習に取り組んできました。まだまだ足りないことも多いですが、14人全員で持てる力を出し切って戦いたいと思います。地元での開催となりますので、ご声援をよろしくお願いいたします。



卓球部

亀岡 冴渡(門前中学校出身)

卓球部は、11月9日から11日にかけて小松総合体育館で行われる、新人大会のシングルス、ダブルス、団体戦に出場します。3年生が抜け、新体制でこれまで一生懸命練習してきました。総体では果たせなかった団体戦での1勝を成し遂げたいです。また、個人戦では、いつも3回戦以上には勝ち上がることができなかったので、3回戦突破を目指します。



女子バレーボール部

長谷川 璃奈(門前中学校出身)

私たちバレーボール部は、2年生5名、1年生4名の計9名という少ない人数ですが、門前高校の単独チームとしては3年ぶりの新人大会に出場します。まだまだ未熟なチームですが、大会では少しでも自分たちが思い描くようなプレーができるように頑張りたいと思います。



ノーベルレクチャー、参加!



10月4日(水)の午後、21Hの理系7名が「ノーベルレクチャー」に参加しました。今年度は、2010年にノーベル化学賞を受賞した北海道大学名誉教授の鈴木章先生に、授賞理由である鈴木カップリングを発見するまでとその応用範囲、および科学技術の大切さについて講義をしていただきました。

化学反応式などで非常に難しい部分もありましたが、生徒は一つでも自分のものにしてうと熱心に聴いていました。



学校評議員会、実施!

9月26日(火)、本校の応接室において学校評議員の方3人をお迎えして、本校の学校評価アンケート(前期)の結果等、学校の現状を報告して本校に対する意見や助言を求めました。評議員の方々から本校の取り組みに対して高い評価をいただき、貴重なご意見・ご助言をありがとうございました。

11月行事予定

- 1~7日 教育ウィーク
- 1日 交通安全指導
- 2日 マラソン大会
- 7日 学校評価中間報告会
- 8日 高P連研究大会・研修大会等
- 9~12日 後期新人大会
- 11~12日 北信越新人大会
- 15日 交通安全指導
- 28日 県高P連第2回合同委員会

九月二十九日、輪島市役所門前支所周辺で「輪島市ゴミゼロ運動」が行われ、本校生徒も参加しました。通常だと本校単独で毎週水曜日に部活動ごとで「参道清掃」を行っていますが、その週は地域挙げての活動ということで、曜日を変えて参加しました。清掃活動には、今年度移転してきた七尾特別支援輪島分校の生徒も参加しましたが、作業の合間には、輪島分校の生徒と本校生徒が互いに声をかけあう場面が見られました。その自然な姿を見て、年度当初に私が抱いていた、「異校種がひとつの学校でうまくやれるのだろうか」という僅かな懸念も消え去りました。

輪島分校が本校に移転する際、互いの授業や行事に齟齬のないように、また業務に支障がないようにと、昨年度、何度も慎重に調整会議を行いました。とにかく前例のないことなので「本当にうまくいくのか」という不安があったのも事実です。何より、これまで互いの環境でのみ活動していた生徒達が衝突しないか、という懸念がありました。しかし移転から半年が過ぎ、それらは全くの杞憂であったばかりか、むしろ本校生徒や教員にとって、非常に得難い経験となることがわかりました。

年度当初は、輪島分校の生徒・児童と廊下で合った際、本校生徒はぎこちなくすれ違っていました。今では、普通に挨拶や声かけができています。また、輪島分校の行事や設備、活動を間近に見ることで、本校教員や地域社会の特別支援教育への理解が進んでいます。つまり、いい意味で「気を遣う」ことなく、そこにいることが「当たり前」となり、真に共生した空間が実現しているのです。

これまで、いくつかの行事や授業で両校生徒が交流し、成果も挙がりました。しかし、これはある意味教員側の仕掛けがほとんどです。大切なのは、生徒自らが互いの存在や個性を認め、支え合い、それぞれの立場で互いの目標に向かって切磋琢磨することです。いくつか解決すべき課題はありますが、ここまでは、互いにより刺激を与えながら活動ができています。今後この「win-win」の関係が続け、県内初のこのシステムの有効性を広く発信していくことが、門前高校に与えられた使命だと考えます。

リアル共生社会 教頭 長田 弥十雄